

陳 情 文 書 表

(令和8年9月15日)

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第223号（8． 9． 4） 神戸空港の特定利用空港指定について、指定に同意しないことを求める陳情
陳 情 の 要 旨	1． 神戸空港の特定利用空港指定に同意しないこと。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市中央区 松本 理花
送 付 委 員 会	経済港湾委員会

2026年 9月 4日

神戸市会議長 様

神戸市中央区

松本 理花

松本理花

神戸空港の特定利用空港指定について、指定に同意しないことを求める陳情

【陳情趣旨】

私は、神戸港、とりわけ神戸空港周辺の海域を何としても平和に守らなければいけない使命があります。

神戸市のウェブサイト「特定利用空港について」によると、3月30日に、国（内閣官房、国土交通省、海上保安庁、防衛省）から神戸空港を特定利用空港の対象候補として検討しているとの説明が、空港管理者である神戸市に対して実施されました。国は「平時の利用で武力攻撃事態のような有事の利用を対象とするものではない」と説明していますが、有事を想定した軍事内容の訓練となるのではないかとの懸念を強く持ちます。

その海域には私の両親が安らかに眠っています。2014年11月~~16~~¹⁷日に神戸空港前の海域で散骨をしました。神戸港は両親のお墓です。私の父は神戸市議会で1975年3月18日に「核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」（非核神戸方式）が全会一致で決議されたときの神戸市議員でした。父は、戦争中は空襲で焼き尽くされ戦後も米軍基地被害に苦しんできた神戸の街の平和が二度と脅かされないように願い、核も戦争の危険もない平和な港町神戸を誇りに議員活動にも邁進していたと思います。死後は先に亡くなった母の骨とともに神戸港に散骨をしてほしいという遺言を残していました。

もしも、神戸空港が特定利用空港に指定され、軍民両用となれば、平和な神戸の海は騒音、軍用機の危険物質の流出、だけでなく、軍事利用が進めば、保護対象から外れ、攻撃の対象となります。お墓を戦場にしないでください。

よって、市民の平和と安全を守る責任を負い、非核神戸方式を堅持してきた誇りある自治体として、神戸空港の特定利用空港指定問題について、国の責任で市民に十分な情報公開と説明を行わせ、また神戸空港・神戸港の軍事利用に道を開く、神戸空港の特定利用空港指定に、同意しないことを求めます。

以上の理由から、以下の事項について陳情いたします。

【陳情事項】^空

1. 神戸港の特定利用空港指定に同意しないこと